

しもとくサポート通信 No.3



平成 28 年 7 月 19 日 発行
下妻特別支援学校地域支援相談センター

第1回学校公開が行われました。80名ほど（本校の保護者の方も含む）の方が参観に訪れ、いつもの授業の様子や職員の手作り教材の展示をゆっくり見ていただきました。児童生徒の実態に応じた授業実践や教材教具の工夫について評価をしていただきました。11月には第2回学校公開が予定されていますので、今回参加できなかった方やご興味のある方は、ぜひご参加ください。

今回のサポート通信では、インクルーシブ教育システムとリオパラリンピックの種目である「ボッチャ」について焦点を当てて、ご紹介いたします。

1 インクルーシブ教育システムとは？

- 障害のある人が、精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを目的とするシステムのことです。
 - 障害のある人と障害のない人が共に学ぶ仕組み＝同じ場で共に学ぶことを追求します。
 - 教育的ニーズに最も的確に答える指導を提供できる「多様で柔軟な仕組み」を整備することが重要です。
- 小・中学校における通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった、連続性のある「多様な学びの場」を用意しておくことが大切です。



基本的方向性

すべての子どもが、授業内容が分かり、学習活動に参加している実感・達成感を持ちながら、充実した時間を過ごしつつ、生きる力を身に付けていけるかどうか、これが最も本質的な視点であり、そのための環境整備が必要です。



※参考：中教審初等中等教育分科会報告より



2 しもとくサポート情報コーナー

誰でもできるスポーツ『ボッチャ』

本校では体育の授業や部活動で「ボッチャ」という競技をやっています。「ボッチャ」はパラリンピックの正式競技でもあり、障害の状態にかかわらず、だれでもプレーできるスポーツです。赤と青のチームに分かれ、ジャックボールという的球に向かってそれぞれの色のボールを投げたり転がしたりしてどれだけ近づいたかを競います。自分で投球することが難しい場合は、ランプと呼ばれる傾斜具の使用ができ、角度や方向を補助者に伝えて調整しボールを転がすことができます。相手のボールにぶつけて弾いたり、コースを塞ぐよう狙ったりと戦術もさまざまで、とても頭を使うスポーツです。9月7日（水）から始まるリオパラリンピックで注目してみてください。



予告

12月15日（木）には、本校において車いすバスケットボール（全日本女子代表チーム）の講演会とスポーツ体験が予定されています。全日本女子代表チームは、リオパラリンピックには出場しませんが、2020年の東京パラリンピックへの出場を期待されております。詳細は、後日お知らせしますが、保護者の方々をはじめ多くの方の参加をお待ちしております。



3 7月および8月の予定

- 7月21日（木）～8月3日（水）第2回 体験入学（個別相談）
- 7月22日（金）第1回 ふれあい教室
- 8月 6日（土）サマークラブ

〈お問い合わせ〉
TEL 0296-44-1800
FAX 0296-43-9174
（担当：コーディネーター牛久）